

山田賀代子さん

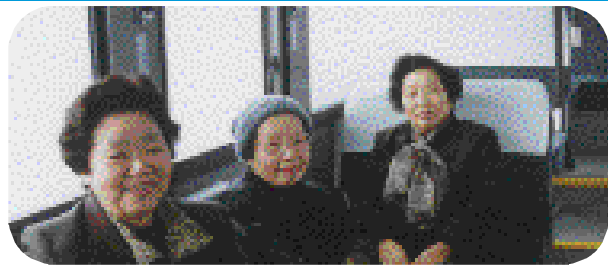
(下米田町)

以前、太田町のスーパーへ勤めているときは、一度川辺の駅まで、自転車で出て、高山線で太田駅まで乗ってきました。

当時は、自宅近くのバス停留所から乗るだけで、太田町へ来られるようになるなんて思ってもいませんでした。もう少し暖かくなったら弁当持



ちで市内をこのバスで回ってみたいですね。



桜田すみ江さん(中央)  
(加茂野町)

(あい愛)バスは、たまに利用しています。買い物は、自宅近くで出来ませんが、総合福祉会館へ行くとき利用しています。

私は、市外から移り住んでおり、市内のことはあまり知りませんでした。でも、このバスに乗っていると、知らないところも通るのでたまに新しい発見があります。

## 私も、利用しています

横田鈴子さん(伊深町)

古井町の病院に入院している母親の世話をするため利用しています。

車を運転することができないので、大変助かります。このバスができる(運行開始)以前は、富加駅まで出てそれから長良川鉄道で太田へ来るのが普通でした。長良川鉄道とバスの連絡はあまり良くないため、富加駅か



らタクシーを使うこともありましたが、今は、200円で病院前から伊深まで乗れるなんてありがたいですね。

木澤禹子さん(三和町)

今日は、買い物に太田へ来ました。自分で出かけてきて、誰にも気兼ねすることなく買い物ができるので安心ですね。このバスができる(運行開始)以前は、一度富加駅まで出てそれから長良川鉄道で関市へ出かけていました。年を取ると乗り継ぎなど大変ですが、このバスは乗り継ぐ手間が



ないのがありがたいです。それに、今では同じバスを利用する馴染みの人ができました。



バスの中は、地域のみなさんで会話が弾みます

# 快走 あい愛バス



総合福祉会館から家路に着く人たち

コミュニティバス「あい愛バス」が、昨年10月2日に運行開始して3カ月が経過。車体の赤い色も街になじんできて、遠くからでも分かりやすいと好評です。交通の手段ばかりでなく、地域のみなさんのコミュニケーションの場としても、利用されています。

## あい愛バスあらかると

市利用者は、7,024人

12月末までの利用者は、7,024人で、1日平均92・4人の利用があります。月別では、10月2,819人、11月2,257人、12月が1,948人となっています。12月が利用者が少ないのは、冬になり利用者が外出を控えたことと、運行日数が11月と比べると2日少なかったことが影響しているものと思われます。現在の利用状況から推計すると、暖かくなる春以降は、外出する機会も多くなり、運行開始当初の年間目標である30,000人を超えると思われる。

### 乗降調査の結果

12月11日から16日までの1週間、全線の利用者を対象に乗降調査を実施しました。これは、運行開始から3カ月経過し利用実態を把握することにより、市民サービス向上の基礎資料にするためです。1週間の利用者は、のべ520人ありました。このうち市街地循環線を除く、地域線6路線の利用者は、448人ありました。

この利用者を地域線別に見てみると、利用者割合が高いのは、伊深・三和線が26・1、下米田・牧野線23・7、山之上線19・2と続きます。最も低いのは、太田・古井線の2・2となっています。

一方、乗降客数の割合が高いバス停留所は、総合福祉会館が39・4、美濃太田駅南北口が23・2、病院が6・9、市役所が5・7となっています。

次に世代別の利用者は、61歳以上が全体の92となつています。この結果から、市中心部から遠い地区の路線ほど利用する割合が高いことがわかりました。また利用者の90以上が高齢者であり、交通弱者にとって生活の一助になっていることもわかります。

### 利用しやすい運行形態へ

市では、この乗降調査や1月に実施した要望アンケートをもとに4月以降、利用しやすい運行形態に改善する予定です。